



衣川台なまず通信

発行 衣川台自主防災部
発行日 平成 26 年 6 月 1 日

防災部の誕生と現在

衣川台自主防災部 筆頭副部長 中村 十規人

衣川台自主防災部は平成17年4月に産声を挙げて今年で10年の節目を迎えました。その発端は阪神大震災を経て間もなく、琵琶湖西岸断層帯の活動の危険度が今後30年以内に9%と言う高い数字が発表されたことです。ここ衣川台でも意識の高い主婦数人から早急に対応してほしいという要望が当時の自治会長に寄せられました。が、大変大きな課題であったため、単年交代の自治会組織では運営が困難であると判断され、プロジェクトチームを立上げ、議論を重ねた結果、住民の賛同を得て、継続的な防災組織の運営を目的に、自治会とは一身同体ではあるが別組織として衣川台自主防災部が誕生しました。従って、自主防災部の組織は、自治会長が防災部部長となっている他、防災部の主要な部員に当年度の自治会役員が就任することになっています。

その取り組みの原点は、お互いに声を掛け合い何かあった時助け合うための「向う三軒両隣」の精神で、各組をグループ分けし、グループリーダーを置き、組長（役員）がリーダーをまとめ、本部が掌握するという形をとっています。

最近では、防災部発足当時よりさらに住民の高齢化が進むとともに住民意識や価値観の多様化、地域社会との連携の希薄化など様々な変化もあり、住民の防災に関する意識も変わってきています。特に平成21年琵琶湖西岸断層帯南部（堅田、比叡、膳所各断層）の危険度はゼロに、近いと訂正発表があり、防災に関する関心度や危機感が薄れてきているように思われます。しかし予想だにしなかった東日本大震災が起ったように、いつどこで大地震が発生するかもしれません。いざという時に備え、日頃から訓練を重ね知識や技能を高めることは、大変大事なことでないでしょうか。防災部は少しでも防災や減災につながるよう活動を続けています。今後とも自助とともに共助の力を高められるよう住民の皆さんのご支援と活動参加をよろしくお願い致します。

防災パトロールについて

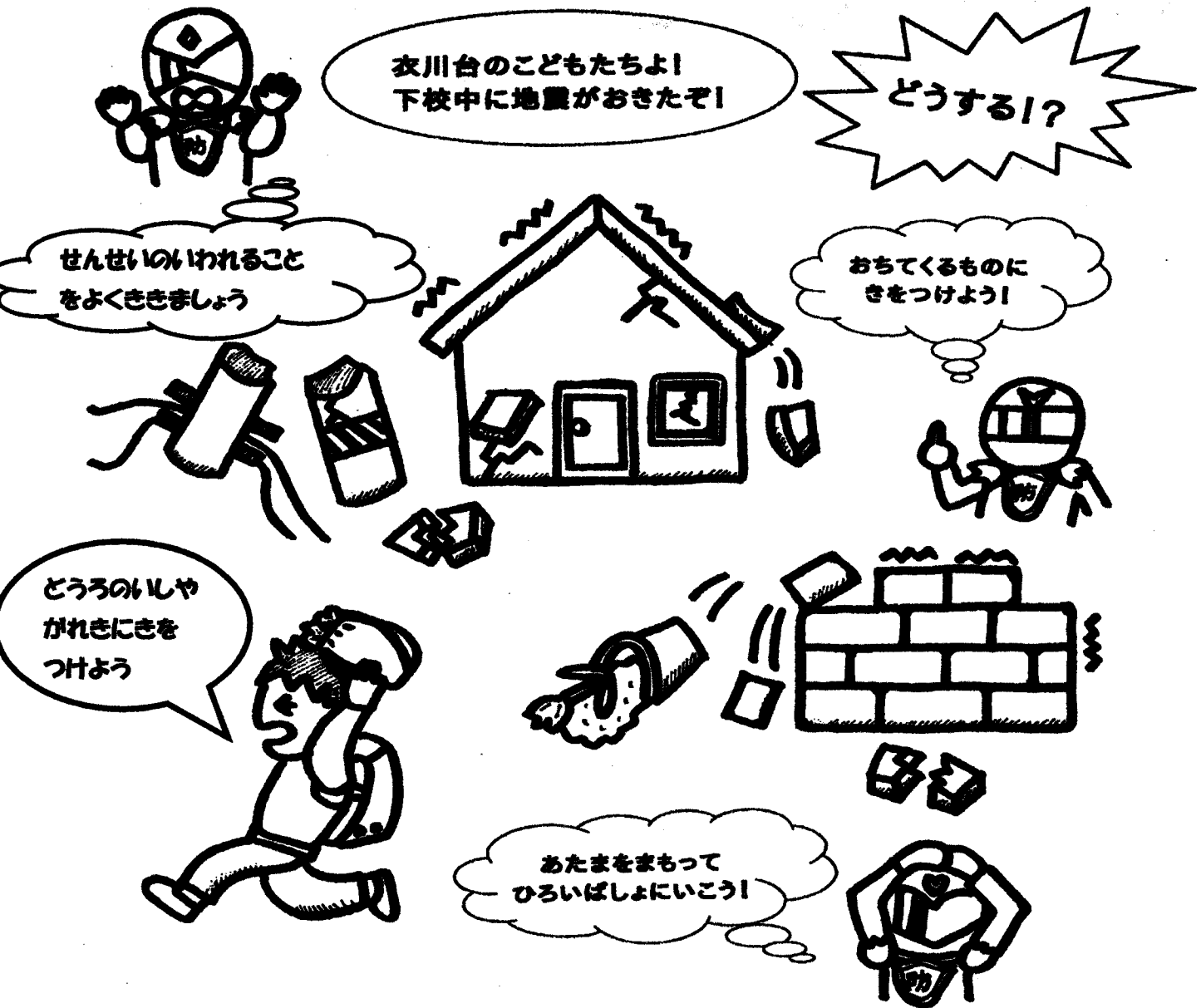
衣川台自主防災部 統括班長 間島 洋一

自主防災部は発足当時より、防災訓練以外に、平常時の環境整備の為、毎年自治会の方々と共に、団地内を回り、防災安全上問題がないかをチェックしてきました。例えば、よう壁、ブロック塀等の倒壊危険箇所、側溝の詰まり、可燃物の放置、消火活動、避難の支障物、消火栓、消火器具、防火水槽の異常等について確認し、危険箇所等があれば、自治会と協力し、回覧で注意を促したり、大津市や消防署等に改善の要望を出したりし住民の皆さんが安全に過ごせるよう環境整備に努めてきました。最近では防災や環境保全意識も向上し、危険な箇所や改善を要する箇所も少なくなってきました。又年月の経過と共に防災・環境面での状況も少しずつ変化し、可燃物の放置などはほとんどなくなりました。その一方で車両（消防車）の通行を妨げかねないほど街路樹や庭木が成長し道路にはみ出したり、道路脇のガードレール・防護柵が壊れたり、また自治会ゴミ箱の破損や側溝の詰まり、側溝の蓋にひび割れなども散見されるようになってきました。

今年は5月18日（日）に組長さんをはじめとする自治会メンバーにもご協力頂きパトロールを実施し、危険箇所、側溝の詰まり、可燃物の放置等について確認するとともに、消火器ボックス異常の有無や消火栓の位置確認などを共同で行いました。これにより消火器ボックス等について防災マップの位置等を修正するとともに皆で消火機器の位置確認をする良い機会にもなりました。

防災部と言えば防災訓練と思われそうですが、自治会と共に衣川台の住環境を少しでもよくする取り組みもしていることを認識頂ければ、活動班員の励みにもなります。これからも自主防災部の活動にご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

なまず戦隊防災ジャーより子ども達へのメッセージ



お知らせ

防災訓練6月8日(日)に実施!! 午前9時、震度5以上の大地震発生!!
自宅を確認後すぐ様家族の安否状況をG.Lに報告!! 続いて消防署に
よる家具転倒防止講習あり。沢山の参加を乞う!!

一口メモ — 大地震の被害 —

最近の国が発表した南海トラフ巨大地震の規模と被害の予想は実に大きい。
M9.0と予想される当地震は津州市でも冬の深夜で死者474人、冬の夕方の
全壊全焼が12,837棟。半壊でも74,084棟と大きな被害が予想されている。
当地震では関東~四国の太平洋岸で海のない大津ではそれ程影響されないと思
われていたが対岸の火事とは云えません。しかも当地震の発生確率は「30年
以内に70%程度」と高く、確率は薄くなったと云われる琵琶湖西岸断層帯
(長さ約59キロ)と連動して発生すれば死者2,000人以上と云われてい
ます。油断大敵!!そのものです。

〈編集後記〉

なまず通信では、防災訓練等
の催し物の案内や新しい情報を
年に4回お知らせし、自主防災
部の歩みを広く知って頂きたい
と思っています。本号は“新し
いなまず通信”の第一歩です。
今後共目を通して頂き、防災に
関心をお持ち頂くことを念じて
います。又一方通行でなく皆様
のご意見、ご要望をおきかせ下
さい。(情報班 井上)